

17 横浜子ども会議

8月28日（金）、磯子区内小中学校の代表児童生徒が森東小学校体育館に集まり、「磯子区開催 横浜子ども会議」を行いました。いじめをテーマとして、磯子警察、区PTAや青少年指導員、補導員、保護司の方々と交えて、区内各校の代表児童生徒が学校の枠を超えて意見交換を行いました。本校からも2名の代表児童が参加しました。

「いじめの定義」「なぜいじめをしてしまうのか」「いじめの未然防止」などについて、10グループに分かれてそれぞれに真剣な話し合いが行われていました。中学生が中心となって進行役を務めながら各自が意見を出し合い、大人も所々で発言をしながら、いじめについて熱く語り合う姿が見られました。

時代とともにいじめのとらえやあり方が変わってきていること、人同士のかかわりのあり方でいじめの様子も変わってくることなど、聞いていて難しいと感じる内容が多々ありました。最後のまとめの中で「人を大切にすること、言葉を大切にすることがいじめをなくすことにつながる」という発言があり、本校の目標につながることだな、と共感を覚えつつ聞きました。

今後代表児童が、この話し合いを校内に還元していくことと思います。

今年度文部科学大臣表彰を受賞したことを受けて、7月末から8月初めまで、磯子図書館にうめりんこクラブの展示コーナーが設けられました。

うめりんこクラブのこれまでの活動の積み重ね、あしあとがわかり、25年間の歩みには大変な重みを感じました。展示された一つ一つの品々には、これまで活動をつないできた多くの方々の思いが詰まっているように思われました。現在の活動の様子を拝見するに、肩ひじ張らず楽しみながら行っているのも、コロナを越えて長く続いている秘訣なのだろうなと思いました。

